



JAL不当解雇撤回ニュース

No413号 2014.12.11
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL:03-3742-3251 FAX:03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekkai.com>

10月、11月も元気に行動

不当解雇撤回に労働法制改悪阻止等、多くの仲間とともに取り組みました

10月10日 最高裁前で

東京争議団主催で 最高裁前宣伝・要請行動に参加し



ました。最高裁西門での宣伝行動の後、要請団を編成し最高裁に要請行動。JAL 原告

団から高裁判決の誤りをただし、労働者の権利を守る公正な判断を要請しました。

団を代表し内田団長が決意表明を行いました。

10月21日 新宿駅で

西部全労協定例の新宿南口街宣伝行動です。右写真でマイクを手に訴えているのはパイロット原告の福永さんその隣は西部全労協の波能さんです。



10月15日 銀座を

「女性の銀座パレード」が行われました。冷たい雨が



降る中、水谷橋公園かを出発してパレード。憲法を守れ!集团的自衛権の行使は反対!とアピール。JAL 原告

の内田団長もマイクを手にあいさつ、日頃の支援へのお礼とともに闘う決意を表明しました。

10月24日 八重洲に蒲田

昼の行動として、日航の再建にあたった元管財人、片山事務所の前で宣伝行動を実施。夕方は大田実行委員会の主催で、JAL 不当解雇撤回を訴えるロングラン宣伝。蒲田駅東口の駅前ロータリーには総勢 200 名が参加。マイク宣伝にチラシの配布、歩道の各所には署



名隊、大田区内の各労組、民主団体、区議会議員、弁護士団に JAL 原告団と次々とマイクを手に、JAL の不当解雇撤回への支援や署名への協力等を訴えました。

「楽しく宣伝行動を」ということで、うたごえの合唱にエイサー隊も登場し、美しいハーモニーと力強い太鼓の音も駅前には響きました。



10月16日 IBMの集会で

JMIU IBM ロックアウト解雇反対大集会に参加。ともに不当解雇を闘う仲間とし、JAL 原告からも多数が参加。各争議団とともに JAL 原告団も紹介され、争議



11月7日 羽田の三駅で



航空は年末闘争の最中。天空橋、整備場、新整備場での各駅頭で、出勤する航空労働者に、不当解雇撤回闘争や年末闘争の状況を掲載した航空連の機関紙を配布しました。

11月14日 団交⇒銀座に



11月19日は年末闘争の山場。山場を前にした14日の団交には、原告団も含めて多くの組合員が傍聴参加。19日のストライキを直前に、緊迫したやり取りが続きました。(写真は日航乗員組合の団交の様子)

団交後はMIC・中央労協の銀座デモ。原告団からも連帯の挨拶。集会後は、コリドー街まで夜の銀座デモです。MICや中央労協のスローガンとともに、JALの不当な解雇は許さない！のシュプレヒコールが銀座に響き、元気が出る行動となりました。



11月16日 新浦安駅で

新浦安駅で宣伝行動を実施しました。日航の植木社長の自宅は、この新浦安から徒歩で数分。日航の利益優先と安全軽視の実態、退職者が後を絶たず人員不足を

きたしているにもかかわらず、具体的手立てを講じようとしない日航の経営実態を訴え、植木社長は不当解雇を撤回し、安全第一の経営を行えと訴えました。



11月18日 国会前で

衆議院解散の前日の18日、安倍政権は有期雇用特例法案を駆け込みで強行採決。JAL原告団も国会前に駆けつけ、雇用共同アクションの多くの仲間とともに、雇用破壊は許さない！正社員ゼロの派遣法は廃案！と、労働法制の改悪阻止の声を上げました。

今国会で派遣法は廃案となりましたが、残業代ゼロ・過労死促進の労働時間規制の緩和や首切り自由化の動きは止まっていません。原告団も「雇用破壊を許すな！」の声を一緒にあげて闘います



11月25日 都内6駅頭で

「JALデー」の一斉宣伝が、都内の6駅頭で実施されました。

解散総選挙へと政局が動いたことから、マイクを手にした多くの方が、安倍政権の暴走を批判するとともに、不当解雇の撤回をはじめ、国民・労働者の生活と権利が守られる政治への転換を求める訴えがされました。



この日都内は冷たい雨。参加されたみなさん、ご苦勞様でした。

写真は高田馬場駅にて訴える客乗原告の山田さんです。